

【件名】常設プレーパークの設置に向けた試行について

【要旨】

区は、令和7年度の常設プレーパークの設置に向けて検討を進めており、設置にあたっては、試行的なプレーパーク事業を実施し、子どもをはじめ保護者や地域の意見、利用実績等を踏まえ、工事や運営内容等を決定することとしている。令和6年度に実施する試行の内容等について、以下のとおり報告する。

1 区民・公園利用者等への周知

(1) オープンハウス形式

プレーパークの特徴や遊びの概要、今後のスケジュールを説明するとともに、常設プレーパークに関する区民からの意見を聴くため、以下のとおりオープンハウス形式の説明会を実施した。

【日時】令和5年12月7日(木)及び9日(土)10時～16時

【参加者数】167人(延べ人数)

【実施場所】中野区立江古田の森公園 学習室

【主な意見】

- 江古田の森公園の豊かな自然環境を生かし、それを大切にしながら子どもたちが自由に遊べる場を作ってほしい。
- 中野区には子どもが自由に遊べる場所が少ないと思うので、プレーパークに賛成である。大人が安全を確保しながら実施してほしい。
- 子どもへの支援に関心があるので、常設プレーパークが開設したらボランティアとして参加したい。
- 子育てに悩んでいる保護者はたくさんいるので、気軽に集まれる場であってほしい。
- 利用が増えるので、駐輪場の整備など公園全体の環境を向上してほしい。

(2) Webアンケート

常設プレーパークに関する区民の意見を広く聴き、設置に向けた参考とするため、Webによるアンケート調査を実施した。

【実施期間】令和5年11月27日(月)～令和6年1月12日(金)

【回答数】161件

【主な自由意見】

- 公園は禁止事項が多かったり、子どもしかいないとトラブルが起きたりするので、自由に遊べてかつプレーリーダーの目もあるプレーパークがあったら本当に助かる。プレーパークでは他学年や地域の方とも触れ合えるので、地域のつながりを作るという意味でも貴重な場だと思う。

- 江古田の森公園のどこにプレーパークを設置するのか。江古田の森公園の自然を大切に思っている方々と丁寧に意見交換を重ねてほしい。
- 近隣保育園の子どもたちの散歩コースになっていることもあるので、設置ゾーンはよく検討してほしい。
- ただ作るだけでなく、専門的な職員を配置するための人件費や維持管理費など必要な経費をかけて、親も子どもも安全・安心に利用できるプレーパークにしてほしい。
- これをきっかけに区内にプレーパークがもっと増えてほしい。江古田の森公園を拠点に出張プレーパークなどの活動ができるようにしてほしい。

2 試行の実施内容

(1)実施期間

令和6年9月～11月(予定)

(2)実施日数

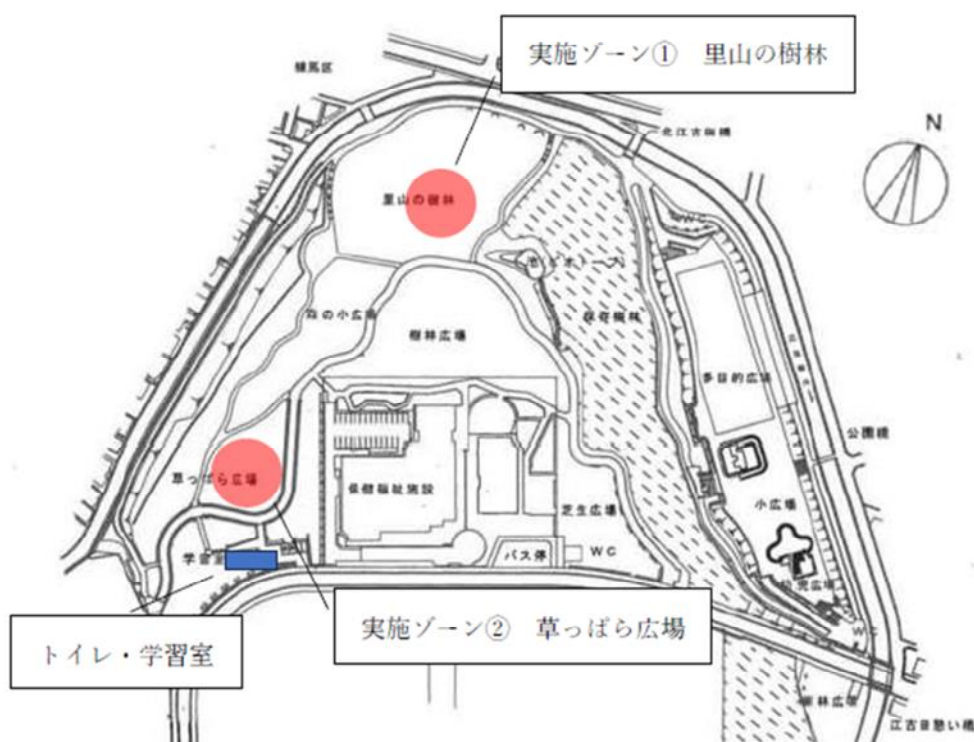
- ・連続した6日間を1単位として、実施期間内に4単位実施する。
- ・実施時間は10時から17時までとする。

(3)実施ゾーン

中野区立江古田の森公園内の2箇所

①里山の樹林 ②草っぱら広場

※各ゾーン2単位ずつ実施する。それぞれのゾーンでの試行実施を経て、常設プレーパークの設置ゾーンを決定する。



(4)運営内容

① 遊びの場の提供

穴掘り、木登り、泥遊び、水遊び等を実施ゾーンの状況に応じて実施する。

② 乳幼児親子向け及び多世代交流事業の実施

乳幼児親子を対象とした交流が生まれる事業を実施する。また、地域の団体や住民との交流が生まれる事業を実施する。

③ 子どもや保護者など利用者からの意見聴取

プレーパークを試行する中で、利用者からの意見を聴き、今後の工事や運営内容等に反映する。

(5)その他

○ 通常の公園維持管理の範囲内で樹木管理を適切に行い、利用者の安全性を確保する。

○ 子どもの自由で幅広い遊びを実現するために、試行実施ゾーンの状況に応じて、盛り土及び除草等を実施する。

3 今後のスケジュール（予定）

令和6年2月～5月 試行運営等業務委託事業者の選定

7月 区民・公園利用者等への周知

9月～ 試行の実施、設置工事(設計)

令和7年度 設置工事(施工)、常設プレーパークの開設